

教員名	田中宏和	所属学科	観光政策学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>スポーツは、社会の様々な分野に影響を与え、様々な分野から影響を受けながら存在しています。つまりスポーツを考えるにはそれを取り巻く現代社会について理解する必要があります。そこでゼミナールでは、スポーツを含む現代社会の理解を目的にしています。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>現代社会の諸問題に関連した書籍を読み、様々な視点から理論的に理解すると同時に、議論を通して理解を深めていきます。</p> <p>そしてそれを踏まえ私たちは、スポーツにどのようにかかわれば、スポーツの価値や意味をどのように理解すれば、様々な現代社会の諸問題を解決することができるのかについて実際に現場に足を運びながら考えていきます。</p> <p>このような活動を通して最終的に自分が、興味関心を持ったテーマについて卒業論文として纏めていきます。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>「スポーツは社会の写し鏡」といわれています。スポーツを学ぶことは、社会全体を学ぶこととなります。その過程での「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」は、どの職域にも必要な基礎的能力になり、様々な点で生かすことができます。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>玉木正之著：『今こそ「スポーツとは何か？」を考えてみよう！』、春陽堂書店、2020.2</p> <p>内田樹著：『街場の憂国論』、文藝春秋、2018.6</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>スポーツがこれほどに注目されている時代はこれまでありませんでした。しかしながら一方で課題も山積しています。その課題解決策を一緒に模索していきましょう。</p>			